

補講 2-3, 自由演習, まとめ

p.141-144

このコマで理解して欲しいこと

1. その他のタイトルの記入方法
2. 書誌レコードの削除予定レコード化

このコマの進め方

補講

- 補講は、テキストに記述してある全てを説明する必要はない。
- 時間に応じて、ポイントのみを示して後は受講者の自習にまかせても構わない。

<時間配分の目安>

その他のタイトルの記入法	10分
書誌レコード削除	10分
自由演習・まとめ	80分

補講 テキストに沿って説明する場合のポイント

p.141-142	<p>補講2.その他のタイトルの記入法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「初号もしくは記述根拠号」とそれより後の号とで、その他のタイトルの書き方が異なることにポイントを置く。
p.143-144	<p>補講3.書誌レコードの削除</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 所蔵レコードとは異なり、書誌レコードは、即時にレコードをDBから消すことはできないので、正確には書誌の削除＝「削除予定レコード」への修正、を意味する。 ● どのような場合に行うのか、具体例をあげるとわかりやすい。 ● リンク関係の確認の大切さを説明する。 ● 受講者が実習を行う必要はない。テキストの例に従って、講師がデモ、あるいは画面例を見ながら口頭で説明する。 ● 《注意》にある2点については、十分確認する。

自由演習・まとめ

このコマの進め方

1. 時間中にこなせなかった課題(課題19, 課題20等)を行う／講習会用ホームページの課題(PDF)を行う／独自の課題・実物を用意する等, 自由に進めてよい.
2. 「付録」の内容の紹介を行う. 付録11複製版, 付録14「電子ジャーナル」のデータ記入は, この講義要領でも参照の機会を記していないので, テキストにはあるがまったく触れずに終わってしまうこともありえる. 時間があれば説明することが望ましい. 付録15「雑誌書誌に関する報告・情報源の送付について」は, 実際の業務で重要な内容のため, 最後にもう一度確認する.
3. NACSIS-CAT/ILLホームページの紹介を行う.
4. まとめ

説明のポイント

自由演習

受講者が共通して誤解している部分, 理解が不足していると思われる点について, 適宜説明・デモを行う.

マニュアル・ツール類の紹介

- 現場に戻って実際に業務を行う際, マニュアル類を常に参照すること. また, ニュースレターには必ず目を通すこと. 平成24年度テキスト改訂で, p.12にマニュアル類活用例を追加したので, これに従って進めてもよい.
- わからないことがあったら, 以下のツールを使うと便利であることを紹介する.
→「ツール」のタブ
NACSIS-CAT/ILL Q&A DB (DB検索)
NACSIS-CAT/ILL 質問受付
- 平成23年度テキスト改訂で巻末に索引をつけた. 講習会後にも, わからない用語や疑問に思うことを調べる, またより詳しく知るには, マニュアル類で確認することを習慣づけるよう促す.

まとめ

- 講習中気づいたことなどを説明する.
- 各種マニュアルの確認. 目録所在情報サービスのホームページの紹介など. 随時ホームページをチェックし, 最新情報等確認して欲しい.
- 講習会で使用したクライアントは, 各機関が業務で使用するクライアントとは異なるので, 画面および操作については, 帰ってから必ず確認をして欲しいことを伝える.
- ただし, 画面構成や操作方法が違ってても, データベースの構造(ファイル・レコードの種類とその内容, および各ファイル・レコード間の関係等), データ入力基準や, データベースを構築していく上での, 目録検索・登録操作全体の流れ, 操作を行う上で確認・判断していく事柄等は共通であり, この講習会で覚えた内容は有効である旨伝える.